

「資金スweepサービス」開始のお知らせ

ソニー銀行株式会社(代表取締役社長:石井 茂/本社:東京都港区/通称:ソニーバンク)は、10月13日(月)より、100%子会社であるソニーバンク証券株式会社(代表取締役社長:杉浦 康浩/本社:東京都港区/以下ソニーバンク証券)との金融商品仲介サービスにおいて、有価証券取引に伴う受渡代金を銀行・証券間で自動的に振り替える「**資金スweepサービス**」を開始しますのでお知らせいたします。

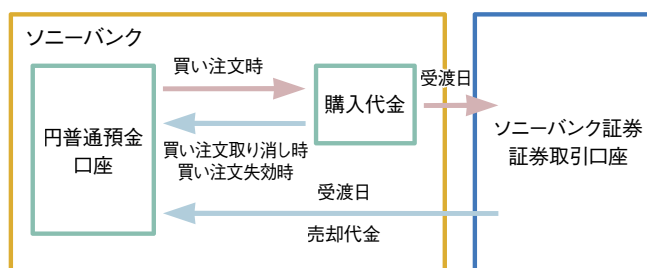
「**資金スweepサービス**」は、株式などの購入代金や売却代金を、ソニーバンクの円普通預金口座とソニーバンク証券の証券取引口座間で自動的に振り替えるサービスです。ソニーバンク証券での購入代金は、買い注文時にソニーバンク円普通預金口座より出金され、売却代金は受渡日に円普通預金口座へ入金されます(*1)。加えて、ソニーバンク円普通預金口座の残高は、ソニーバンク証券での買付余力に反映されます。これにより、お客さまは銀行・証券間の資金移動手続きを省略して、有価証券取引を行うことが可能となります。

さらに、購入代金には受渡日前日まで円普通預金金利が付利されるため(*2)、効率的に資産を運用することも可能です。本サービスは、ソニーバンク証券の証券取引口座にあらかじめ設定されており(*3)、同証券取引口座をお持ちのすべてのお客さまに手数料無料でご利用いただけます。

ソニーバンクとソニーバンク証券は、引き続き一体となって、利便性の高い有価証券運用サービスを提供してまいります。

■資金スweepサービスの特徴

- 特徴1** ソニーバンクの円普通預金口座に入金するだけで、株式などの購入が可能
(注文前の証券取引口座への入金手続きが不要)
- 特徴2** 売却代金は受渡日に自動的に円普通預金口座へ入金
- 特徴3** 購入代金には受渡日前日まで円普通預金金利が付利



(*1) 売却代金のうち、買い付けに充当された部分は除きます。

(*2) 売却代金を利用して購入代金に充当した部分は、付利の対象ではありません。

(*3) 10月12日(日)以前にソニーバンク証券の証券取引口座をお申し込みのお客さまについては、資金スweepサービス開始以降に、ログイン後サービスサイト「ソニーバンク証券との金融商品仲介サービス」お取り引き画面からの利用登録手続きが必要です。

※「資金スweepサービス」の詳細は、2008年10月13日(月)以降のサービスサイトよりご覧ください。

以上

ソニーバンクのサイト | 企業サイト <http://sonybank.net/> サービスサイト <http://moneykit.net/>

©Sony Bank Inc. MONEYKitはソニー銀行株式会社の登録商標です。

報道関係の方からのお問い合わせ先

ソニー銀行株式会社

経営企画部 広報担当: 高木・渡辺

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目9番11号
Tel 03-6230-5903 Fax 03-5561-1081
press@moneykit.co.jp

お客さまからのお問い合わせ先

カスタマーセンター **0120-365-723** (フリーダイヤル)
フリーダイヤルをご利用いただけない場合は **03-6730-2700** (通話料有料)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※番号をお間違えにならないようご注意ください。

※IP電話をご利用の場合、ご入力内容が確認できない場合がございます。

【受け付け時間】平日/9:00~20:00 土・日・祝日(12月31日~1月3日を含む)/9:00~17:00

※年中無休(システムメンテナンス時を除く)

金融商品仲介に関するお問い合わせ 平日/8:30~17:00(土・日・祝日および12月31日~1月3日は休業)

金融商品仲介の重要事項

ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。お取引引きの際には、必ず以下の内容および、サービスサイト上の「契約締結前交付書面」をご確認のうえ、ご自身で投資判断を行っていただきますようお願いいたします。

(1) 金融商品仲介の重要事項（共通）

1. 有価証券のリスク

ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券には、それぞれ以下のリスクがあります。

① 株式のリスク

• 価格変動リスク

取引市場における相場の変動により株価が下落し、投資元本を割り込むリスクがあります。

• 信用リスク

発行会社の経営、財務状況の悪化、およびそれらに関する外部評価の変化等により株価が下落し、投資元本を割り込むリスクがあります。

• 流動性リスク

売買が極端に少ない銘柄を換金する際、希望した価格で売却できないリスクがあります。

② 新興市場のリスク（新興市場で取引引きされる有価証券のリスクには、以下の特徴があります）

• 価格変動リスク

新興市場に上場している企業は、他の取引市場に上場している企業に比べ、小規模な企業が多く、株式の流通量が少なく売買注文も少ないことから、価格変動リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。

• 信用リスク

新興市場の上場審査は、他の取引市場の上場審査と比べて審査の重点が異なり、経営・財務体質については新興市場に上場している企業は他の取引市場の上場銘柄に比べて弱い場合が多く、信用リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。

• 流動性リスク

新興市場に上場している企業は、他の取引市場に上場している企業に比べ、小規模な企業が多く、株式の流通量が少なく、売買注文も少ないことから、流動性リスクは他の取引市場の上場銘柄に比べて高いといえます。

③ ETF（上場投資信託）のリスク

• 価格変動リスク

投資対象とする株価指数、債券指数、商品価格、商品指数などの変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

• 信用リスク

組み入れを行った株式等の発行会社の経営、財務状況の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により株価が下落し、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

• その他のリスク

株価指数や商品指数に連動する投資成果をあげることを目指して運用を行いますが、組み入れが完全に行われず、それらの指数と一致しなかったり、指数の算出方法の変更や構成銘柄の入れ替えなどの影響により、取引価格と基準価格が一致しないリスクがあります。

④ REIT（不動産投資信託）のリスク

• 価格変動リスク

投資対象とする不動産価格や収益力などの変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

- 信用リスク

発行会社の経営、財務状況の変化、それらに関する外部評価の変化等、組み入れた不動産価格や収益力の変化に基づいて、投資信託の基準価格が変動することにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

- その他のリスク

関連する税法の運用や将来的な変更によって、当初予定していた投資効果が得られない場合があります。

⑤ 世銀債のリスク

※ソニーバンク証券では「世銀債」のお取り扱いはしていません。

- 価格変動リスク

途中売却の場合、売却時の債券市況の変動により、投資元本を割り込むことがあります。

- 金利変動リスク

金利の上昇等による債券価格の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

- 為替変動リスク

為替相場の変動により、お受け取り金額が変動し、円換算での投資元本を割り込むことがあります。

- 発行者の信用リスク

発行者の経営、財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化などにより、元本や利息の支払い能力（信用度）が変化し、投資元本を割り込むことがあります。

- 流動性リスク

流動性の問題から、売却希望後、直ちに売却換金することが困難な場合や売却金額に悪影響が及ぶ場合があります。

2. 預金保険

ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券は、預金ではなく預金保険の対象とはなりません。

3. 金融商品仲介に関する手数料

ソニーバンクの金融商品仲介においてお客さまがソニーバンクに支払う手数料はありません。

ただし、委託証券会社では、お取引引きに応じて別途手数料がかかります。

4. お取引引きいただけるかた

- ソニーバンクの金融商品仲介のお取引引きは日本国内に居住されている満 20 歳以上のお客さまにご利用いただけます。
- ソニーバンクが金融商品仲介でご案内する有価証券には、元本割れのリスクがあるため、「お客さまカード」に登録された投資目的が「資産運用にあたっては、元本割れのリスクは一切許容せず、資産運用を検討する。」の場合は、お取引引きを制限させていただく場合があります。

5. その他重要事項

ソニーバンクの金融商品仲介は、ソニーバンク証券株式会社またはマネックス証券株式会社を委託証券会社としており、お客さまのお取引引きの相手はソニーバンク証券株式会社またはマネックス証券株式会社となります。

<ソニーバンク証券株式会社との金融商品仲介について>

ソニーバンクは、金融商品仲介業務を行う登録金融機関として、ソニーバンク証券株式会社からの委託を受け、証券取引口座開設のお申し込みお手続きの受け付けおよび株式などの売買注文のお申し込みの受け付けを行います。証券取引口座の開設および株式などの売買注文の執行は、ソニーバンク証券株式会社が行います。

<マネックス証券株式会社との金融商品仲介について>

ソニーバンクは、金融商品仲介業務を行う登録金融機関として、マネックス証券株式会社からの委託を受け、証券総合取引口座開設のお申し込みお手続きの受け付け、外国債券、新規公開株式、公募・売出株式のご案内などを行います。

(2) ソニーバンク証券株式会社との金融商品仲介にかかわる事項

1. お取り引き手数料

ソニーバンク証券株式会社におけるお取り引き手数料は、以下の通りとなります。

お取り引き手数料（株式、ETF、REIT）	約定代金の0.105%（最低手数料は840円）
単元未満株の「買取請求」取り次ぎ手数料	一銘柄につき525円

※ 課税される手数料については、すべて消費税込みで表記しています。

- 1回のご注文ごとに手数料が決まります。（約定が複数日に分かれる場合は、その約定日ごと）
- 1回のご注文の約定代金が80万円までの手数料は840円です。
- 1回のご注文の約定代金が80万円超の場合は、約定代金の0.105%が手数料になります（円未満は切り捨て）。

2. 各種お取り扱い手数料

ソニーバンク証券株式会社における各種お取り扱い手数料は、以下の通りとなります。

保護預かり管理料	無料
振り替えによる出庫移管手数料	一銘柄1,050円
名義書換料	一単元525円（上限10,500円）
相続贈与書類精査手数料	一相続人あたり1,050円
書面による各種帳票の交付手数料	一種類、一回につき1,050円

※ 課税される手数料については、すべて消費税込みで表記しています。

3. ソニーバンク証券株式会社の加入協会

- 日本証券業協会
ソニーバンク証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1628号

(3) マネックス証券株式会社との金融商品仲介にかかわる事項

1. 各種お取り扱い手数料

新規公開株式、公募・売出株式

ソニーバンクでは、マネックス証券株式会社で募集中の新規公開株式、公募・売出株式の情報をご案内しています。

マネックス証券株式会社の新規公開株式、公募・売出株式についての手数は以下の通りです。

新規公開株式（IPO）：参加費用・購入時手数料は無料です。

公募・売出株式（PO）：参加費用・購入時手数料は無料です。

外国債券

ソニーバンクでは、マネックス証券株式会社で取り扱っている新規発行の外国債券（発行者は主に世界銀行）の募集状況をご案内しています。

マネックス証券株式会社の1通貨あたりの為替手数料は以下の通りです。（2007年9月現在）

通貨	手数料（片道）
米ドル	25銭
豪ドル	70銭
ニュージーランドドル	70銭
南アフリカランド	30銭

2. その他重要事項

- マネックス証券株式会社で取り扱いの商品に関するお問い合わせは、マネックス証券株式会社のコールセンターに直接お願いいたします。ソニーバンクでは一切お答えすることはできません。
- ご案内しているマネックス証券株式会社の取り扱い商品（新規公開株式、公募・売出株式、外国債券）・サービスおよび手数料は変更される場合がございますので、最新の情報については、必ずマネックス証券株式会社のウェブサイトでご確認ください。

<外国債券について>

世銀債のご購入方法、ご購入に関する注意点、為替レートなどは、マネックス証券株式会社のウェブサイトでご確認ください。

<新規公開株式、公募・売出株式について>

- ブックビルディング（需要申告）、ご購入のお申し込みはマネックス証券株式会社のウェブサイトでお手続きください。
- 銘柄の選択、ブックビルディング（需要申告）、ご購入のお申し込み、売買（申告）価格などの投資にかかる最終決定は、マネックス証券株式会社が交付する目論見書の内容をご確認のうえ、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

3. マネックス証券株式会社の加入協会

- 日本証券業協会
マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

ソニー銀行株式会社
登録金融機関
関東財務局長（登金）第578号
所属協会：日本証券業協会
社団法人 金融先物取引業協会